

## 令和2年度 第3回射水市食育推進会議 会議録

日 時 令和3年2月18日（木）午後1時30分から2時30分

場 所 射水市大島分庁舎3階大会議室

出席者 射水市食育推進会議委員〔6名 城岡委員、犀藤委員欠席〕

木田会長、亀谷副会長、稻垣委員、尾上委員、尾山委員、松浦委員

射水市食育推進会議幹事会〔9名〕

小見福祉保健部長、京角市民生活部副参事・環境課長、盛光政策推進課長、

星野生活安全課長、北子育て支援課長、轟保健センター所長、久々江港湾観光課長、

福井農林水産課長、中川学校教育課長

事務局〔5名〕

宮本保健センター所長補佐、坂本係長、山口主査、中山主任、高原主任

---

1 開 会 (司会:轟保健センター所長)

2 会長あいさつ

3 議 事

(1)第3次射水市食育推進計画（素案）に対する意見募集結果について（資料1）

(2)第3次射水市食育推進計画（案）について（資料2）

意見交換、質疑応答

【会長】

ウィズコロナを意識した質問がありました。それに対する本文の変更はこの位で良いと思う。2年後、3年後に状況は変わると考えられるため、あまり踏み込みすぎない方が良いと感じる。

【委員】

22ページ朝食を毎日食べる子どもの割合、23ページ朝食を毎日食べる父母の割合と26ページの2人以上で食事を食べることの整合性はどうとるのか。26ページの内容では親子で食事を食べることになると思うが、子どもの朝食の目標は100%、親は75%、80%となっている。

【事務局】

子どもの朝食摂取が100%となるのは現実的には達成が難しいが目指すところは100%。親世代も現実的には難しいので少しでも朝食を食べる方が増えることを目指している。

**【委員】**

親世代も 100%に近い数字にした方が、2 人以上で一緒に食べるという意味で釣り合いが取れるのではないか。

**【幹事】**

親の目標数値は国の若者世代の目標数値を参考にしている。

**【会長】**

2 人以上の家族団らんで食べることは、両親だけでなく、祖父母など他の家族と食べる場合も考えられる。

**【会長】**

3 5 ページの特選食材を使った料理の写真は何か。

**【幹事】**

白エビの刺身です。

**【事務局】**

白黒写真で分かりにくいので、「白エビの刺身」とメニュー名を追加します。

**(3) その他 (資料3)**

**【委員】**

ライフステージに応じた実践のヒントについて、乳幼児期、学童期から高齢期まで上から並んでいるが、これを年齢で表現できないか。

**【事務局】**

年齢の範囲については定義が色々あり、年齢を特定しない表現にした。

**【会長】**

乳幼児期で言えば乳児は1歳未満、幼児期は保育園、幼稚園になる。何歳かといわれると学童期は4月1日から学童期になり、誕生日から学童期になるわけではない。思春期は子どもの成長により個別差があり、学童期に重なる部分がある。食育ということでこのような形が取り入れられているのかなと思う。

**【委員】**

一般の人がみると、何歳ぐらいのことを言っているのかわかりにくい部分がある。何かわかりやすく基準となるものはないか。

**【委員】**

年齢は気にしなくても良いのではないか。このように書かれていれば理解はしやすい気がする。

**【会長】**

年齢に関しては意見が分かれるので、この施策の中で必要があれば根拠を示して入れるのも良い。そこは事務局に任せます。

**【委員】**

概要版に記載されているカニ給食の写真は3年前のものだが、市民へ配布するとなると本人に確認は必要ではないか。

**【幹事】**

当時は許可を得て使用していたが、3年前のことなので再度確認する。

**【会長】**

ここで出た意見に対して事務局で検討し、最終的なものを作成していただくということでお任せします。

**4 閉　　会**